

平成29年度 地方創生推進交付金に関する事業と評価

対象事業の名称	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		平成29年度の取組み内容
	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	
いい那珂暮らし魅力発信 定住促進事業	指標①	(定住関連事業を活用した) 移住者数	210	人	H30.3	231	①シティプロモーション推進事業 ・いい那珂暮らし応援団設立・運営 (キックオフイベントなど) ・市と市民の双方向情報発信基盤構築 (フェイスブック及びデジタルマップを活用した情報発信) ・WEBマガジン(移住ポータルサイト)運営 (取材及び原稿、動画作成) ②いい那珂暮らし促進事業 ・相談窓口開設・運営 (企業コーディネーター、移住相談員の配置) ・移住体験ツアー等開催
	指標②	移住関連プログラムへの 参加者数	40	人	H30.3	77	
交付決定額:9,575千円 実績額:8,940千円	指標③	いい那珂暮らし応援団員に よる情報発信件数	60	件	H30.3	141	
事業概要	本市の特性である住みよさや交通の利便性について、「いい那珂暮らし応援団」を設立し官民協働で魅力を発信するシティプロモーションを推進し、市の認知度関心度向上及び交流人口増を図ると共に、関心を持った人に対しては、移住や仕事のワンストップ相談窓口の開設による相談体制の強化や移住体験プログラム(移住ツアー、お試し居住)を実施し、住宅取得助成制度や、創業支援、企業支援なども含め雇用の確保、定住人口増への取組を強化する。						

※事業効果・・・ A:「非常に効果的であった」(目標値以上)、B:「相当程度効果があった」(目標値の7割程度)、C:「効果があった」(目標値以下(改善あり)) D:「効果が無かった」(目標値以下(改善なし・悪化))

有識者会議委員の評価		実績値を踏まえた平成30年度以降事業の今後について	
事業の評価	有識者からの意見	今後の方針	今後の方針
総合戦略のKPI達成に有効であった	①シティプロモーション推進事業 ・那珂市が「いかに暮らしやすいまち」であるか、那珂市で生活することのメリットを具体的に発信していくことが必要。 ・交流イベント、双方向型の情報発信への取組は、一過性のものでなく継続して行う必要がある。その際は、市外での交流イベント開催、スマホアプリの構築など新たな層を取り込む取り組みをしてはどうか。 ②いい那珂暮らし促進事業 ・地域や地域の人々と関わる機会を提供するなど「関係人口」に着目し、移住体験プログラムの拡充など、取り組みの強化を図っていく必要がある。 ・生活利便性のPRの他、休日に行えることを紹介することで、那珂市は田舎暮らしも便利な生活もできるという印象を与えられる。	更に発展させる	近隣へのプロモーションを強化し、移住定住希望者への情報発信強化、交流機会の増加を図る。 ①シティプロモーション推進事業 ・いい那珂暮らし応援団運営(交流会イベント等) ・市及び市民の双方向情報発信実証実験 ・WEBマガジン(移住ポータルサイト)運営 ・水郡線及び水戸駅への広告掲出 ・茨城マルシェを活用したイベントの開催 ②いい那珂暮らし促進事業 ・相談窓口運営 ・インターンシップなど雇用のマッチング機会の創出検討 ・移住体験プログラム(移住ツアー、お試し居住) ・移住パンフレット改訂